

「聞き書き甲子園」事前研修参加

「聞き書き甲子園」に参加する全国の高校生が一堂に集まる「聞き書き研修」が8月11日から14日まで、東京で行われました。

ジャーナル136号でお知らせしたとおり、本校1年の齋藤香穂が選ばれ、この研修に参加してきました。研修では、講師の阿川佐和子さん(文筆家・インタビュアー)や塩野米松さん(作家)から「聞き書き」やインタビューの方法などを教えていただき、その後行われた「聞き書き実習」を通しインタビューする際の質問項目や話のつなぎ方など、専門的なコミュニケーション手法を学ぶことができました。

※「聞き書き甲子園」とは、日本全国の高校生が森や海・川の名手・名人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」し、記録する活動です。

※森の名手・名人とは、造林手、炭焼きなど、森に関わる分野で様々な経験や技術を先人たちから受け継いでいる人。



齋藤香穂(1年2組)

研修会プログラム

8月11日(木) ～開校式～

フレデリック・バック展見学

開校式・主催者あいさつ

映画「森聞き」上映

インタビューのおもしろさ、むずかしさ

講師 阿川佐知子氏・塩野米松氏

オリエンテーション(ウェルカムパーティ)



8月12日(金) ～聞き書き実習～

(於 高尾の森わくわくビレッジ)

塩野米松氏による聞き書き実習

①インタビュー項目を考える

②実習 聞き書きの実践

③テープ起こし

④レポート作成・PC入力・提出

8月13日(土) ～高尾の森体験活動～

森の中での体験プログラム

(於 佐川急便社有林「高尾100年の森」)

写真撮影講習と実習

写真共有システムの説明

塩野米松氏による講評

「共存の森づくり」(卒業生の活動)の紹介

聞き書き卒業生の体験談

交流会



8月14日(日) ～閉校式～

講義「森・海・川の人との暮らし」

講師 滋澤寿一氏

閉校式・集合写真撮影